

特許取得 「安定性」と「推進力」に優れた歩行杖

新しい形状のウォーキングポール

Issoku-CHO[®]
(1足長)

2022年 6月 特許取得

2023年 1月 意匠登録

3月 商標登録

5月 SGマーク取得

世界 157 か国 PCT 国際出願中

令和 5 年度 地方発明表彰受賞

大分の
フォレストゼミナールが
日本の歩行杖を**世界のスタンダード**にする
プロジェクトです

学生と高齢者の将来を考える教育コンサルタント

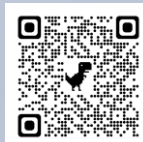
FOREST SEMINAR フォレストゼミナール

住 所 〒870-0877 大分市賀来 2089-3

T E L 097-549-4531

Nスポ校 NPO 法人 七瀬の里 Nクラブ内
大分市野津原 397 番地

W E B <https://nspo-oita.com/forest/>



ホームページ



新しい形状の歩行杖

“Issoku-CHO”の誕生について

(1足長)

2021年の10月。私は妻と大分の由布岳に登りました。途中で妻が何度も杖を持つことを勧めるので、私は雑木林に落ちている木の枝を1本手に取りました。私が偶然手に取ったのは、まっすぐではなく、『くの字』に曲がっていたものでした。握った感触がよかったので、それを持って登ることにしました。ところが登りながらその使いやすさに驚きました。適度な弾力が推進力を与えてくれます。腕で後方に押さなくても推進力が得られます。また、手と足のリズムがとてもよく合います。私はその木の枝を持って帰り、その形状を分析しました。そして、使いやすさの根拠が見えてきました。また、調べる過程で、山登りやトレッキング、ウォーキング等の健康志向の人だけでなく、歩行のために杖が必要な人にとっても、これまでにない使いやすさと補助力を発揮する形状の杖であることが分かってきました。

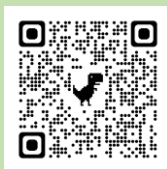
私はこの形状の杖を企業に作ってほしいと強く願うようになりました。この杖により、より多くの人々が外に出て、健康を増進する機会を得られるようになることを確信したからです。また、企業に安心して作ってもらうためには特許を取っておかなければならないことを知り、特許への挑戦をはじめました。そして、有り難いことに、『新規性』や『進歩性』『産業上の利用可能性』が認められ、特許を取ることが出来ました。その後、製作を担当してくれる企業も見つかり、製品安全協会が認定するSGマークも取得出来ました。そして、ついに世の中に誕生させることが出来ました。

現在、この形状の歩行杖は世界中でこの“Issoku-CHO”だけです。しかし、パラリンピックの陸上競技の世界では『ブレード』と呼ばれる曲がった形状の義足が主流になったのと同様に、人間の使う杖の世界でも、曲がった形状の利点に人々の関心が向くときが必ず来ると信じています。そして、この形状に関心を持っていただく方が増えることによって、さらに使いやすい製品が世の中に登場すると思います。

今までの歩行杖との違いやメリットについて説明する動画をYouTubeの『Issoku-CHOチャンネル』にアップロードしています。是非ともご覧いただき、この新しい形状の歩行杖“Issoku-CHO”に関心を持っていただきますとともに、応援していただけますことを心より願っております。皆様方のご支援をよろしくお願い致します。

フォレストゼミナール
森 達雄

YouTube の
『Issoku-CHO チャンネル』です
左記のような
動画をアップ
しています



NPO法人七瀬の里Nクラブ
学習サポート部門
フォレストゼミナール
代表 森 達雄



特許第7108958号

人間にとって使いやすい杖にするためには、グリップから1足長下で、杖の先端が1足長前方になるように曲げるとよいのです。
*
「1足長」とは各自の足のサイズのことで



【推薦のことば】

医療現場においては、杖の先端が1足長前方にあることによって、安心して1歩目を踏み出せる点が有り難い。T字杖よりも荷重負担免除力が高く、また、松葉杖よりも長期にわたっての使用が可能である。この杖によって、多くの人たちが外で歩く機会を持ち、健康を増進することを願っています。

藤島クリニック院長 医学博士 藤島 宣彦

